

アフリカ知的財産ニュースレター Vol. 119

◆ 目次

1. 主要トピック

ARIPO

- ・グローバル特許審査ハイウェイ制度に ARIPO が参加

アルジェリア

- ・アルジェリアが高等教育機関向けの「国家知的財産ポリシー」を発表

エジプト

- ・エジプトによる知財関連の公定料金改定と新たなサービス料の導入

エチオピア

- ・エチオピアが地理的表示について初の法的枠組みを策定

ケニア

- ・ケニア産業財産機関がオンライン特許出願システムを導入

リベリア

- ・リベリア大統領が主要な知財条約 8 件の批准に向けて始動

モザンビーク

- ・モザンビーク政府は意匠の国際登録に関するハーグ制度への加入を承認
- ・2026～2035 年の知的財産ポリシーおよび戦略を大臣評議会が承認

タンザニア

- ・Lakairo 事件で示された画期的な判決を機にタンザニアが ARIPO 商標承認へ

ウガンダ

- ・ウガンダ議会在「2025 年著作権・著作隣接権（改正）法案」を採択

2. 他のトピック

文末を参照

◆ ニュース

1. 主要トピック

ARIPO

・グローバル特許審査ハイウェイ制度に ARIPO が参加¹

ARIPO は 2026 年 1 月 6 日付で「グローバル特許審査ハイウェイ（グローバル PPH）試行プログラム」（Global Patent Prosecution Highway (Global PPH) Pilot Program）への参加に踏み切った。この制度の下では、同プログラムに参加している他の知財庁が過去に示した肯定的な特許査定に基づいて、出願人が ARIPO に早期審査を請求することが可能になる。

早期審査を求めるためには、審査の対象となる ARIPO 出願と過去に他の参加庁が審査した出願の最も早い日付が同じであり、同じ特許可能なクレームを含んでおり、かつ、他の参加庁により特許可能と判断されたクレームと実質的に同一のクレームが ARIPO 出願に含まれていなければならない。また、早期審査を申請する出願人は、ARIPO の「書式 13D」、クレーム対応表、裏付けとなる審査文書を提出しなければならない。ARIPO が定めた詳細なガイドラインには、グローバル PPH に基づく早期審査の申請に適用される適格要件、クレーム対応要件および手続上の手順がさらに詳しく示されている。

アルジェリア

・アルジェリアが高等教育機関向けの「国家知的財産ポリシー」を発表²

アルジェリアが世界知的所有権機関（WIPO）の支援を受けて作成した高等教育機関向けの「国家知的財産ポリシーモデル」（National Intellectual Property (IP) Policy Model³）を発表した。このポリシーの中核をなすのは 4 本の主要な柱——保護、商業化、協力、イノベーション——で、各大学による知的資産の管理・活用方法の改善を意図している。また、関係者間での知識の共有を増進させるとともに、学術機関と産業界の結びつきの強化を推進することもこのポリシーの狙いである。

全体として見れば、こうしたポリシーの導入はより調和のとれたイノベーション・エコシステムの構築を目指す活動が同国で拡大しつつあることを示すものであり、その中で大学は、研究の商業化と発展を牽引する主要な原動力として位置付けられている。

¹ <https://www.aripo.org/news/ARIPO+Joins+the+Global+Patent+Prosecution+Highway+Pilot+Program-1773733038>

² <https://www.wipo.int/en/web/office-algeria/w/news/2026/l-algerie-lance-un-modele-national-de-politique-de-propriete-intellectuelle-pour-l-enseignement-superieur>

³ <https://www.wipo.int/documents/d/technology-transfer/docs-national-models-national-model-ip-policy-academic-research-institutions-main.pdf>

エジプト

・エジプトによる知財関連の公定料金改定と新たなサービス料の導入^{5,6}

エジプト知的財産庁（Egyptian Intellectual Property Authority；EGIPA）が発行した 2026 年決定第 64 号および 65 号により、知的財産関連の手数料が改定されることとなった。新料金は 2026 年 4 月 5 日から適用されている。

一連の料金改定には新たに設定されたサービス料の導入が含まれており、これらの新料金は、従来の公定手数料と印紙税に加えて、商標、商号、意匠、地理的表示等さまざまな知的財産権に適用される。現在、関連の知財当局が処理するサービス全般に適用される料金は、従来に比べて 500 エジプトポンド（米ドル換算でおよそ 10 ドル/日本円で 1,500 円）程度引き上げられた。

これらの値上げに加えて、新たなサービスが導入されており、それらのサービスについても料金が徴収される。特別企業情報検索サービス（2,000 エジプトポンド；米ドル換算でおよそ 35～40 ドル/日本円で 5,800～6,200 円）と、過去の専門家報告書の公式な写しの発行（登録日によって 3,000～5,000 エジプトポンド；米ドル換算で約 55～100 ドル/日本円で 8,700～15,500 円）である。

これらの料金改定は、サービスを基本とする料金構造への大幅なシフトを反映している。つまり、知財当局とやり取りする度に新たな料金が発生する可能性があるということである。その結果として、エジプトで知的財産を取得・維持するのに要するコストの総額は増大するものと予想される。

エチオピア

・エチオピアが地理的表示について初の法的枠組みを策定⁷

エチオピアは地理的表示について同国初となる法的枠組みを完成させ、原産地に由来する品質や評判を有する製品の保護を目指している。

今回策定された法的枠組みは、指定地域外の生産者が保護対象の地名を使用するのを阻止することにより、エチオピアの傑出した産品をサポートしていくことが期待されている。エチオピア名産として知られている産品には、シダマ・コーヒー、イルガチェフェ・コーヒー、ティグライ・ホワイトハニー等がある。

地理的表示に関する法制改革は、自国の知的財産制度の強化を目指すエチオピアの広範な努力の一部をなすものであり、同国の WTO 加入や AfCFTA 加盟を支える基盤でもある。エチオピアで産出されるコーヒー、胡麻、蜂蜜、香辛料等の市場での認知度や輸出価格は、この新たな法的枠組みによって底上げされるだろう。

⁵ <https://cwbip.com/insights/news/2026/egypt-updates-official-ip-fees-and-introduces-new-service-fees>

⁶ <https://oneworldip.com/egypt-increase-in-trademark-service-fees/>

⁷ https://capitalethiopia.com/2026/04/19/ethiopia-finalizes-first-legal-framework-for-geographical-indications/?fbclid=IwY2xjawRldJpleHRuA2FlbQlxMQBzcnRjBmFwcf9pZBAyMjIwMzkxNzg4MjAwODkyAAEefFhV8B-VKGil33NmKZoS6G7X_WcFFSiY5oWQI2WEvmcTwWOG10yo6iyVYo_aem_5NOLZHchVFmvFLRDajw-LA

ケニア

・ケニア産業財産機関がオンライン特許出願システムを導入⁸

ケニア産業財産権機関(Kenya Industrial Property Institute; KIPI)は、世界知的所有権機関(WIPO)との連携により、特許・意匠・実用新案の[オンライン出願システム](#)を導入した。これにより、ケニアはボツワナに続きアフリカで2番目に特許出願のデジタル化を実現した国となった。

このシステムのプラットフォームは、利用者がオンラインで出願書類を提出することを可能にする。決済もオンラインで完結させることができるため、効率性が向上し、所要時間が短縮され、旅費や書類作成に伴う費用も削減される。さらに、出願人は当局の通常の業務時間外にも書類を提出できるので、利便性が向上することになる。

特許出願のデジタル化構想は、KIPI が取り組んでいる広範なデジタル・トランスフォーメーション戦略の一環であり、オンライン商標出願システムの導入についてもすでに計画が進められている。こうした動きは、より迅速で透明性が高くユーザーフレンドリーなサービスをイノベーターや企業に提供することにより、ケニアの知財エコシステムを強化するものと期待されている。

リベリア

・リベリア大統領が主要な知財条約 8 件の批准に向けて始動⁹

リベリアのジョセフ・ニューマ・ボアカイ大統領(Joseph Nyumah Boakai)は、知的財産に関係する8件の主要な国際条約および議定書をリベリア立法府に提出し、批准を求めた。同国の知財枠組みの近代化に向けて重要な足跡が刻まれたのである。提出された条約文書には、WIPO著作権条約(WIPO Copyright Treaty)、実演及びレコードに関するWIPO条約(WIPO Performances and Phonograms Treaty)、UPOV条約(UPOV Convention)、知的財産、遺伝資源及び関連する伝統的知識に関するWIPO条約(GRATK Treaty)等が含まれており、これらの文書が提出された背景には、国際機関(世界知的所有権機関、アフリカ広域知的財産機関など)が定めた国際標準にリベリアの法律を適合させようという意図がある。

上記の条約が批准された場合、クリエイターに対する保護の強化、伝統的知識の保護、農業イノベーションの促進といった効果が期待されるだけでなく、投資先としてのリベリアの魅力も高まることになるだろう。このような動きは、より堅固な国家的知財エコシステムの構築と経済成長の支援を目指す政府の幅広い戦略の一環である。

⁸ <https://www.kipi.go.ke/institute-launches-online-patent-filing-system>

⁹ <https://allafrica.com/stories/202603040018.html>

モザンビーク

・モザンビーク政府は意匠の国際登録に関するハーグ制度への加入を承認^{10,11}

モザンビークは、意匠の国際登録に関するハーグ制度への加入を承認した。承認の決定は2026年3月24日に行われた大臣評議会（Council of Ministers）で行われたが、これと同時に、ハーグ協定の1999年ジュネーブ改正協定（1999 Geneva Act of the Hague Agreement）、ロカルノ協定（Locarno Agreement）および意匠に関するリヤド条約（Riyadh Treaty on Industrial Designs）への加入も承認されている。こうした動きは、国民の創造性に対する保護の強化や経済的競争力の向上を志向するものであり、今のところ保留されている国際条約が正式に施行された暁には、所期の成果が実現されることになるだろう。

・2026～2035年の知的財産ポリシーおよび戦略を大臣評議会が承認¹²

2026年3月31日、大臣評議会の第31回通常会議において、「2026～2035年知的財産ポリシーおよび戦略（PEPI）」（Intellectual Property Policy and Strategy（PEPI）2026–2035¹³）が承認された。PEPIは重要な枠組み文書であり、その趣旨は、モザンビークの国家的な知的財産制度の強化と統合である。

知的財産に関するモザンビークの既存の戦略枠組みに示されている主要なテーマには、以下のようものが含まれている：競争力とイノベーションを牽引する企業（特に中小企業）による知的財産の戦略的利用の促進；知的財産権の保護とエンフォースメントに関わる法的・制度的メカニズムの強化；政府、産業界および社会の意識と能力の向上。今回承認された戦略は、伝統的知識や遺伝資源の保護と商標化（地域コミュニティへの公正な利益配分を含む）を特に重視するとともに、国内の製品や産業に付加価値を与えるために研究活動、技術移転、知的財産の活用を支援することに重点を置いている。

タンザニア

・Lakairo事件で示された画期的な判決を機にタンザニアがARIPO商標承認へ^{14,15}

2025年9月26日付の重大な判決の中で、Lakairo事件（*Lakairo Industries Group Co. Limited & Others v. Kenafric Industries Limited & Others*）の審理を担当したタンザニア控訴裁判所（Court of Appeal of Tanzania）は、バンジュール議定書（Banjul Protocol）に基づきアフリカ広域知的財産機

¹⁰ https://www.ipi.gov.mz/noticias-e-eventos/420-governo-aprova-adesao-de-mocambique-ao-sistema-de-haia-para-registo-internacional-de-desenhos-industriais?fbclid=IwY2xjawRmxkxleHRuA2F1bQlxMABicmlkETE0amxQbDdYnNvJMjY4bFVic3J0YwZhcHBfaWQQMjlyMDM5MTc4ODIwMDg5MgABHvUuGs3HEABFx1RW-CzRUz0wOalH49WH-C4mhDWdEoBEEnfiVLUekiWM4Cg_aem_GxLQEWQVc9li4T22aPoOfg

¹¹

<https://www.facebook.com/IPIndustrial.MZ/posts/pfbid02MmoXB728gxrYDJ8DL7ekmwz8aZVPhYBubTPeomvmyCqeoGkE3bpAzcgCHMYZUthl?rid=CnSAp1okwXpbzyt5#>

¹²

<https://www.facebook.com/IPIndustrial.MZ/posts/pfbid02n4wXW8N9S2v8fM977nXgtoYwirtcxwKm5RUhfwLdfkRfThm5wBt2W1nqussEs2jkl?did=XSq5tp1OdhOspfe3#>

¹³ https://www.aripo.org/storage/resources-member-state-policies/1674822419_phpZz3EYm.pdf

¹⁴ https://www.linkedin.com/posts/ernest-fundi-b2a65b1ba_the-written-laws-miscellaneous-amendments-ugcPost-7436690723422244864-4nBA/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YUqifDO8I9hJ34epHQ

¹⁵

<https://www.facebook.com/IPIndustrial.MZ/posts/pfbid02n4wXW8N9S2v8fM977nXgtoYwirtcxwKm5RUhfwLdfkRfThm5wBt2W1nqussEs2jkl?did=tKYKRiKbanvclujp#>

関 (African Regional Intellectual Property Organization ; OAPI) を通じて取得された商標登録はタンザニア本土において法的効力を持たないと判示した。バンジュール議定書は、まだタンザニアの国内法に編入されていないからである。

こうした事態に対処するため、政府は「2026 年成文法 (雑則) 改正法」(Written Laws (Miscellaneous Amendments) Act, 2026) を導入した。この法律は、バンジュール議定書を正式に国内法化し、タンザニア法に基づき ARIPO の商標を承認しようとしている。改正法が施行されるまで、タンザニアにおいて商標保護を確保するための信頼性のあるルートは、従来どおりタンザニア営業登録・実施許諾局 (BRELA) を通じた国内出願のみとなる。

ウガンダ

・ウガンダ議会が「2025 年著作権・著作隣接権 (改正) 法案」を採択^{16,17}

ウガンダ議会が「2025 年著作権・著作隣接権 (改正) 法案」(Copyright and Neighbouring Rights (Amendment) Bill, 2025) を法として成立させ、アーティストやクリエイターに対する保護の強化に向けて重要な一歩を刻んだ。同法案は 2026 年 3 月 17 日～18 日の議会で採択され、現在は大統領による同意の署名を待っている段階で、この署名と同時に法的効力が発生することになる。

このたび議会通过した改正法は、ウガンダにおける著作権の枠組みを現代に適合させ、著作物に対する保護を強化するとともに、著作権使用料、デジタル権、エンフォースメントに関しても新たな規定を設けている。特筆すべきは、同法が侵害に対する罰則の強化を規定していることである。改正法の下では、5,000 万ウガンダ・シリング以下の罰金刑や 10 年以下の禁錮刑が科されることもありうる。こうした法制改革によって著作権侵害が抑制され、著作権使用料の徴収状況が改善され、ウガンダの制度が国際標準に合致するものとなるだろうと予想されている。改正法の施行に当たっては、ウガンダ登録サービス局 (Uganda Registration Services Bureau ; URSB) が中心的な役割を果たすことになっている。

2. 他のトピック

アルジェリア

・連続ドラマ「Fatima」の放送中止を求める訴訟 ―― 告訴理由は「盗作」

<https://www.eldjazairjedjadia.dz/%D8%B1%D9%81%D8%B9-%D8%AF%D8%B9%D9%88%D9%89-%D9%82%D8%B6%D8%A7%D8%A6%D9%8A%D8%A9-%D9%84%D9%88%D9%82%D9%81-%D8%A8%D8%AB-%D9%85%D8%B3%D9%84%D8%B3%D9%84-%D9%81%D8%A7%D8%B7%D9%85%D8%A9-%D9%88%D8%A7/> (2026 年 3 月 7 日)

・アルジェリアが知的財産保護の分野で 3 件の協定に署名

<https://www.aps.dz/culture/arts/mohm27ha-%D8%A7%D9%84%D8%AA%D9%88%D9%82%D9%8A%D8%B9-%D8%B9%D9%84%D9%89-%D8%AB%D9%84%D8%A7%D8%AB-%D8%A7%D8%AA%D9%81%D8%A7%D9%82%D9%8A%D8%A7%D8%AA-%D9%81%D9%8A-%D9%85%D8%AC%D8%A7%D9%84-%D8%AD%D9%85%D8%A7%D9%8A%D8%A9-%D8%A7%D9%84%D9%85%D9%84%D9%83%D9%8A%D8%A9-%D8%A7%D9%84%D9%81%D9%83%D8%B1%D9%8A%D8%A9> (2026 年 4 月 27 日)

¹⁶ <https://ursb.go.ug/2026/03/25/parliament-of-uganda-passes-copyright-and-neighbouring-rights-amendment-bill-2025/>

¹⁷ https://www.linkedin.com/posts/african-regional-intellectual-property-organization_ari-po-kampalaprotocol-creativeconomy-activity-7440670410632814593-YDcG/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAVxn4UBmx6eu6dZ8ac8thTL72F5G8jB4Aw

- ・ 国家著作権・著作隣接権裁判所が 2026 年の「国際知的財産の日」を祝い「著作権フレンドリー認証」(Copyright Friendly) の料金を支給

<https://www.facebook.com/ONDADZOFFICIEL/posts/pfbid02yhy5kM6v1h8bcEMtGZrDwevCpaD9hgy4s7MBoUxNdRmy8m2yTDWqqfrnEtDFcaNhl?rldid=imyaGhCM3if0xb6U#> (2026 年 4 月 27 日)

アンゴラ

- ・ アフリカ諸国の知的財産登録に関する調整会議にアンゴラ産業財産庁 (Angolan Institute of Industrial Property ; IAPI) が参加

<https://iapi.gov.ao/web/noticias/iapi-participa-da-reuniao-de-coordenacao-do-registo-de-propriedade-intelectual-da-africa> (2026 年 4 月 29 日)

- ・ 「世界図書・著作権デー」および「世界知的財産の日」を祝して国家著作権・著作隣接権局 (National Service for Copyright and Related Rights ; SENADIAC) が実施したセミナーにアンゴラ産業財産庁 (IAPI) が参加

<https://iapi.gov.ao/web/noticias/iapi-junta-se-ao-senadiac-no-seminario-alusivo-ao-dia-mundial> (2026 年 4 月 29 日)

ARIPO

- ・ ARIPO が設立 50 周年の祝賀行事と記念ロゴを発表

<https://www.aripo.org/public/news/ARIPO+Launches+50th+Anniversary+Year+Celebrations+&+Commemorative+Logo-1772530837> (2026 年 3 月 3 日)

- ・ 特許審査と PCT に関する研修講座が ARIPO で開講

<https://www.aripo.org/public/news/Patent+Examination+and+PCT+Training+Commences+at+ARIPO-1773150773> (2026 年 3 月 10 日)

- ・ 2026 年の「国際女性デー」に向けた ARIPO からのメッセージ：「ARIPO は知的財産とイノベーションの分野において女性の参加を拡大する活動を世界中の知財庁とともに進め、生産性・競争・経済成長を牽引している」

https://www.linkedin.com/posts/african-regional-intellectual-property-organization_womenandip-iwd2026-activity-7436394864428179456--

v8A/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw (2026 年 3 月 12 日)

- ・ 2026 年の国際女性月間のテーマ「権利・正義・行動：繁栄に向けた女性の再配置」を掲げた ARIPO の盛大なイベントに寄せられた反響、激励、そして創造性の閃き

<https://www.facebook.com/ARIPOSecretariat/posts/pfbid02ADU1jYRN7xkQmXn8a6rM3gvAazrkiDxPhi7v6Xczj6G5dNFjKf5SxNSRPXjjDXJJI?rldid=1IjvoJ9DREzWU9MW#> (2026 年 3 月 31 日)

- ・ 南スーダンの代表団がハラレの ARIPO 本部を訪問

<https://www.aripo.org/public/news/ARIPO+Hosts+South+Sudan+Delegation+in+Harare-1776174677> (2026 年 4 月 14 日)

・ ARIPO の Bemanya Twebaze 長官が第 67 回 WIPO 加盟国総会臨時会議に出席し ARIPO の声明を発表

https://www.linkedin.com/posts/bemanya-twebaze-922255192_i-had-the-honour-of-attending-the-67th-extraordinary-ugcPost-7452418367266635776-4Xqn/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjFD08l9hJ34ephvQ (2026 年

4 月 22 日)

・ アフリカのスポーツ振興のための知的財産の活用 ― 2026 年の「世界知的財産の日」に考察されたアフリカの可能性

<https://www.aripo.org/public/news/Leveraging+Intellectual+Property+to+Elevate+Sport+in+Africa+-+Reflections+for+Africa+on+World+IP+Day+2026-1777025614> (2026 年 4 月 24 日)

・ アフリカのスポーツ経済の発展に知的財産が果たす重要な役割

<https://www.facebook.com/ARIPOSecretariat/posts/pfbid0o5oSX12j2hykDJrM9XW5bRpnXoALPw8aUZpq7rpUfCx3T8ARu9REP2SoaSN4MSvWI?rclid=toEneR0k770g6pQv#> (2026 年 4 月 26 日)

・ アフリカのスポーツ経済の発展に知的財産が果たす重要な役割

<https://www.facebook.com/ARIPOSecretariat/posts/pfbid0o5oSX12j2hykDJrM9XW5bRpnXoALPw8aUZpq7rpUfCx3T8ARu9REP2SoaSN4MSvWI?rclid=toEneR0k770g6pQv#> (2026 年 4 月 26 日)

・ ARIPO がレソト王国政府と連携して開催した植物品種保護に関するハイレベル・シンポジウムのテーマは「農業イノベーションの育成：アフリカの食料安全保障と持続可能な農業のための植物新品種保護の促進」

<https://www.facebook.com/ARIPOSecretariat/posts/pfbid0uk5gQxHVEB3nBax9FkSP8mHzdfA4hPpEW1rGxr3SV84vkWwHvEdAKfcqx789L7oYI?rclid=cYc004w0807jyeUZ#> (2026 年 4 月 29 日)

カーボベルデ

・ カーボベルデ品質管理・知的財産庁 (IGQPI) と ARIPO の協力により 2026 年 3 月 19 日に開催された「ARIPO オンラインサービス啓発ワークショップ」

<https://www.facebook.com/IGQPI/posts/pfbid02ew1RhSG4sLsYxFxA4CmmkxEXh9t5FT13s2r92Gvrv5MXoKnYNyeidPLbiob4Wrl1?rclid=ULjhwHoRoYMzavNN#> (2026 年 3 月 17 日)

・ カーボベルデが自国の産業財産制度の品質と信頼性を強化

<https://www.facebook.com/IGQPI/posts/pfbid0CHbx5HZizamyP7FivKUZNgBr3DF6TtQwf8Ta3BB6ehx4VFJs9YXSCGNgCucSISZnl?rclid=A6NAErMSckzBkICf#> (2026 年 4 月 21 日)

・ 原産地名称と地理的表示の登録に関する規則の承認がカーボベルデにもたらす戦略的前進

<https://www.facebook.com/IGQPI/posts/pfbid0VwfcDhiQKCC53Xz2VpAKScJg6FLam7z6jiCv2LP4at8SZBNA3Xd4jfkvnZYChgaTI?rclid=crIvJshqW8yrl6SC#> (2026 年 4 月 22 日)

エジプト

・ 黒色の種なしブドウ品種 Sugrathirteen に関わる植物品種保護の有効性をエジプト行政裁判所が確認

<https://www.freshplaza.com/north-america/article/9831550/egyptian-administrative-court-confirms-validity-of-plant-variety-protection-for-sugrathirteen/> (2026 年 4 月 22 日)

エチオピア

・エチオピア知的財産庁（Ethiopian Intellectual Property Authority）がイノベーションと技術に関する当局の専門家を対象として知的財産権登録（特に商標および著作権・著作隣接権の電子登録/E-サービス/出願時の提出データ）に関する 2 日間の研修を実施

<https://www.facebook.com/eipa.gov.et/posts/pfbid0SNuF6MatJXLmEgB2K73LV5qApZX9FFyD2fYCbX8FCMvSYZmASV8rWVAFQ9gFHMDdl?rddid=kpxlFM2MuhxcTNUU#> (2026 年 3 月 6 日)

・ディラ大学（Dila University）が南エチオピア州政府のイノベーション・技術局（Innovation and Technology Bureau）と協力してイノベーション研究/知的財産保護の分野の専門家を対象とした能力強化研修を実施

<https://www.facebook.com/eipa.gov.et/posts/pfbid02BoHZ8e8gfUYjXgvrDXC4dj59CXQyEqvr3UUH9EEhEbgXcz9EpFx8YdNSikBGXsERI?rddid=6YYhc3jAMt2EKM4V#> (2026 年 3 月 12 日)

・ウォライタ市（Wolayta city）の職員がエチオピア歴 2018 年 3 月 9 日に利害関係者を対象として商標の意味に関する啓発研修会を開催

<https://www.facebook.com/eipa.gov.et/posts/pfbid02ae1Xmpk7ryHE98xSGiaNtFSixW5yC98HYNWbJ5gyg1fGCyHj7HwhgJ7shc9cEhcl?rddid=y1Zo2aNN3RbFaLpW#> (2026 年 3 月 19 日)

・エチオピア知的財産庁とエチオピア連邦技術職業訓練研究所（FDRE Technical and Vocational Training Institute）が相互協力協定に署名

<https://www.facebook.com/eipa.gov.et/posts/pfbid0zZcYPf7PpVrsphMdcync6jHvLjZZAcbcVzDBF51u7B2xZpAGJPRAT7Xrhfovl?rddid=Rhp8CYEkdtYJ3Rab#> (2026 年 4 月 14 日)

・エチオピア歴 2018 年 4 月 8 日にビシヨフトゥ市でジャーナリストとプロデューサー向けの啓発研修会を開催

<https://www.facebook.com/eipa.gov.et/posts/pfbid02Ps2RDbVmW1pwmBvtZFh4nh3okYjz3D35EEZUan36uVPVP975esbHZwyXnHXioTcl?rddid=lsxVwuxTOcAW7TXD#> (2026 年 4 月 17 日)

・WTO 加入を間近に控えてエチオピアの知財法改革が加速

<https://www.facebook.com/GazettePlusEnglish/posts/ethiopia-accelerates-ip-law-reforms-in-push-for-wto-accession-nation-to-mark-wor/1437405388399138/> (2026 年 4 月 17 日)

・アフリカ自由貿易地域における自国の通商関係の強化を目指すエチオピアが 9 件の知的財産問題に関する交渉を完了

<https://www.facebook.com/eipa.gov.et/posts/pfbid03ssRbhe3Db2jtce5AMCJTedFjkNbmDyJ9rJKw8oJfjxYqPRc1grjBVVDyTTexp1l?rddid=R8NX35Leo9wL7iilq#> (2026 年 4 月 18 日)

・著作権の集中管理団体（CMO）による著作物使用許諾と使用料徴収に関する 2025～2026 年の条件を解説

<https://copyright.go.ke/media-center/news-updates/clarification-collective-management-organizations-cmos-licensing-and> (2026 年 4 月 23 日)

ケニア

・カカメガ（Kakamega）における模倣品取締のため地方自治体、治安当局および模倣品取締機関（ACA）がエンフォースメントを強化

<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events/599-regional-administration-security-agencies-and-aca-strengthen-anti-counterfeit-enforcement-in-kakamega> (2026年3月3日)

・ケニア模倣品取締機関（Anti-Counterfeit Authority – Kenya ; ACA）がサバンナ・ホテル（Le Savanna Hotel）においてエンフォースメントと啓発を目的とした重要なフォーラム（Enforcement and Awareness Forum）を開催

https://www.linkedin.com/posts/anticounterfeitauthority_kisumu-took-center-stage-earlier-today-as-activity-7432765577544355841-3RG6/?utm_source=social_share_send&utm_medium=member_desktop_web&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8I9HJ34ephvQ (2026年3月5日)

・ケニア：「2026年著作権・著作隣接権法案」（Copyright and Related Rights Bill 2026）に関する意見公募

<https://copyright.go.ke/media-center/news-updates/invitation-public-comments-proposed-copyright-and-related-rights-bill> (2026年3月10日)

・大手タバコ会社の BAT Kenya が違法なタバコ取引の取締り強化を求めて ACA を表敬訪問
<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events/602-bat-kenya-pays-courtesy-visit-to-aca-to-strengthen-fight-against-illicit-tobacco-trade> (2026年3月12日)

・タンザニア公正競争委員会（FCC Tanzania）の代表団が商標登録に関する研修のために ACA を訪問

https://www.linkedin.com/posts/anticounterfeitauthority_aca-hosts-fcc-tanzania-delegation-for-training-activity-7439284531745959936-DXd-/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw (2026年3月17日)

・ケニア産業財産権機関（KIPI）の理事会が任命後初となる会議を開催

<https://www.kipi.go.ke/kipi-board-holds-inaugural-meeting-following-appointment> (2026年3月27日)

・模倣品取引の取り締まり強化を図る ACA が在ケニア英国商工会議所と連携

https://www.linkedin.com/posts/anticounterfeitauthority_aca-engages-british-chamber-of-commerce-activity-7442132795948269569--T22/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8I9HJ34ephvQ (2026年5月28日)

・ケニア（ACA）が 2025/2026 年の目標達成を公約

https://www.linkedin.com/posts/anticounterfeitauthority_the-anti-counterfeit-authority-kenya-aca-activity-7442157874988003328-

4jFf/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8I9hJ34ephvQ (2026 年 3 月 28 日)

・ ACA が大規模なエンフォースメント活動により価格にして 2 億ケニアシリング超の模倣品を廃棄

https://www.linkedin.com/posts/anticounterfeitauthority_aca-destroys-counterfeit-goods-worth-over-activity-7452701347210149888-

Oeft/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8I9hJ34ephvQ (2026 年 3 月 28 日)

・ ACA が貿易の円滑化と模倣品対策を強化するためケニア歳入庁 (KRA) との AEO 相互承認枠組みを締結

https://www.linkedin.com/posts/anticounterfeitauthority_aca-signs-joint-aeo-recognition-framework-activity-745203187663278080-

myFv/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8I9hJ34ephvQ (2026 年 3 月 29 日)

・ 違法なアルコール醸造に関する陳情が発端となった国会審議の参考人としてケニア模倣品取締機関が議会に出頭

https://www.linkedin.com/posts/anticounterfeitauthority_aca-engages-parliament-on-efforts-to-curb-activity-7455244519911911425-

BR7d/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8I9hJ34ephvQ (2026 年 3 月 29 日)

・ 模倣品取締機関がケニア駐在のインド高等弁務官を表敬訪問し相互の利益に関わる事項について協議

https://www.linkedin.com/posts/anticounterfeitauthority_this-afternoon-the-executive-director-of-activity-7452009083945017344-

ABNL/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8I9hJ34ephvQ (2026 年 3 月 30 日)

・ 横行する模倣品：今年のイースターの最良の贈り物は警戒心

<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events/606-fakes-why-vigilance-is-the-best-gift-this-easter> (2026 年 4 月 5 日)

・ 模倣品取引の取締りに関する協力強化のため ACA が在ケニア英国商工会議所 (BCCK) と連携

<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events/611-aca-engages-bcck-on-strengthening-collaboration-in-the-fight-against-counterfeit-trade> (2026 年 4 月 9 日)

・ ACA 事務局長が国家知財ポリシー・戦略案に関する諮問会議の議長に

<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events/609-aca-executive-director-chairs-consultative-meeting-on-proposed-national-ip-policy-and-strategy> (2026 年 4 月 9 日)

・ロウアー・イースタン地域（Lower Eastern）の取締りを行っていた複数の当局が強制捜査により模倣品の疑いのあるアルコール飲料を押収

<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events/608-multi-agency-raid-nets-suspected-counterfeit-alcohol-in-lower-eastern-crackdown> (2026年4月9日)

・ACA、警察および犯罪捜査局（DCI）が東部地域において模倣品の疑いのある Dettol 社の固形石鹸 3,600 個を押収

<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events/613-aca-police-and-dci-intercept-3-600-suspected-counterfeit-dettol-soap-bars-in-eastern-region> (2026年4月10日)

・ACA が断行した 2 億ケニアシリング超に相当する模倣品の廃棄が違法な取引網に大打撃

<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events/615-aca-deals-major-blow-to-illicit-trade-with-destruction-of-counterfeit-goods-worth-over-ksh-200-million> (2026年4月22日)

・製品知識に関する戦略的研修を通じてエンフォースメントの戦力強化を図る ACA

<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events/614-aca-strengthens-enforcement-grip-through-strategic-product-knowledge-training> (2026年4月22日)

・複数の当局が関与した強制捜査によりニエリ（Nyeri）の住宅街に所在する違法アルコール飲料の製造拠点を発見

<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events/616-multi-agency-raid-uncovers-illicit-alcohol-manufacturing-den-in-nyeri-residence> (2026年4月28日)

・「世界知的財産の日」を機に ACA がケニアのエルドレット市でスポーツ関連のイノベーション保護を呼びかけ

<https://www.aca.go.ke/media-center/news-and-events/617-aca-marks-world-ip-day-in-eldoret-with-call-to-protect-innovation-in-sports> (2026年4月28日)

リベリア

・リベリア知的財産庁（LIPO）がビジュアル・アーティストを対象とした知的財産権に関する研修を実施

<https://www.facebook.com/liberiaipo/posts/pfbid02jKPHE2hR6JV7CinsGqJKQ4aJd68ori9nx9b3B4DXh5d3KsHUxvWnHwvGdVG CpmLcl?rdid=tpQLVPnE7jaqviwv#> (2026年3月26日)

・リベリア政府はスポーツ関係者について知的財産権の登録料を免除

<https://www.facebook.com/liberiaipo/posts/pfbid029TtvM2gJ6dVXujuoLzjuVXXKKesd2dnULRmGNsNvcfNtmRfGHpWjBbgzxMHgSHcRI?rdid=rb8Zlh6VCJmMrGcX#> (2026年4月29日)

マダガスカル

・「知的財産の理解と活用」をテーマとした研修を実施

<https://www.facebook.com/omapiambanidia/posts/pfbid022MX4JzSQXzSsQDUJtGjxPNGpZS7EMTfAgo8Vsrq71rgr7DrDCSoEgEH5PbVFY8l?rdid=rOXhP0iKOZKmtYnu#> (2026年3月18日)

モーリシャス

- ・ARIPOはモーリシャスの電子出願システムを推進する予定

<https://www.facebook.com/GIS.Mauritius/posts/pfbid0c6M3SP3EXiYaKLFSoLzcKC2Hws5qvuMHJtjtUsaEcArZFFVpXjbie5gx1qwkZKhcl> (2026年4月3日)

モロッコ

- ・視察により知的財産分野におけるモロッコとフランスの協力関係を強化

<https://marrakechpost.com/2026/03/10/%d8%b2%d9%8a%d8%a7%d8%b1%d8%a9-%d8%af%d8%b1%d8%a7%d8%b3%d9%8a%d8%a9-%d9%84%d8%aa%d8%b9%d8%b2%d9%8a%d8%b2-%d8%a7%d9%84%d8%aa%d8%b9%d8%a7%d9%88%d9%86-%d9%81%d9%8a-%d9%85%d8%ac%d8%a7%d9%84-%d8%a7%d9%84/> (2026年3月10日)

- ・2026年版の「国際知的財産指数」(International Intellectual Property Index)でモロッコがアフリカとアラブ諸国の両方でトップに

<http://www.ompic.ma/fr/actualites/le-maroc-premier-en-afrique-et-au-niveau-des-pays-arabes-selon-lindice-international-de-0> (2026年3月13日)

モザンビーク

- ・産業財産権に関する行政システムの移転が進行中

<https://www.facebook.com/IPIndustrial.MZ/posts/pfbid0DBoh4AKzkgJeuJdQxn1R2kbjGt2A4YSP4XYHepDXvHC3vQkhpFGWoTTWKvVo6nl?rdid=ReowcyBadO4m9Vvw#> (2026年3月14日)

- ・マドリッド制度に基づく国際商標登録に関する研修を実施

<https://www.facebook.com/IPIndustrial.MZ/posts/pfbid02AprY7ZMMJkWWXAe2cHnqY3xEZMLR757u4Q3yGRVH5L6WvnqKikWXRxl5dTMtL3h1?rdid=toQLxBtYs2xsHoDI#> (2026年4月22日)

ナミビア

- ・ナミビアが画期的な検証ワークショップにおいて「国家知的財産法新戦略 2.0」(NIPPS 2.0)の方向性を策定

<https://www.facebook.com/BIPA.Namibia/posts/pfbid02xqWjmBhEnYm5iPQfQB6yYWsUugGDgYi6RaNwV2ATUzMDdTpjHrfVuDUgytJvnn7GI?rdid=1KjGx0FQytvo0wWK#> (2026年3月25日)

ナイジェリア

- ・ナイジェリア：犯罪組織が知的財産を侵害している ―― 税関長談

<https://allafrica.com/stories/202603020820.html> (2026年3月1日)

- ・WIPO ナイジェリア事務所(在アブジャ)が主催した知財ワークショップにおいて植物品種保護(PVP)の特別研修に参加した人々をナイジェリア著作権委員会(NCC)が啓蒙

<https://www.facebook.com/copyright.gov.ng/posts/pfbid02UpmHtQ5xpn47ahdDZZg6vvxtT8HjqX1Mkach4N5eNMCKsbpdAJGxfcFbVhcAogvfl?rdid=XF0BZRyUuQOQ5H32#> (2026年3月8日)

・ NCC と全国教員養成校委員会（NCCE）の協力関係を確立するため NCC が NCCE を訪問
<https://www.facebook.com/copyright.gov.ng/posts/pfbid0SQ6vJatQWu4Qn4MCW5zDNkzjbn9YDruE6rXgB5jBavzbd9Qzsmvw8xZ9bmz34Ful?rclid=umAlXGNwvZLeLK3M#> (2026 年 3 月 12 日)

・ がん治療に用いられる薬剤アバスチンの模倣品がナイジェリア国内で流通していると国家食品医薬品管理局（NAFDAC）が警告
<https://allafrica.com/stories/202603130124.html> (2026 年 3 月 12 日)

・ 著作権侵害の取締りとナイジェリアのクリエイティブ経済の強化を目指すパートナーとして MultiChoice の CEO が NCC を訪問
<https://www.facebook.com/copyright.gov.ng/posts/pfbid02K1g51QvHeUsNMeAyKXeDi1cumPeZgAoiKnHL2YwzXPn862B3SpzvYDCARU5UvLbql?rclid=VfzUPpggBfi0AOMT#> (2026 年 3 月 18 日)

・ ナイジェリアで出回っている乳がん治療薬フェスゴの模倣品につき NAFDAC が国民に注意喚起
<https://allafrica.com/stories/202603180434.html> (2026 年 3 月 18 日)

・ 著作権委員会と MultiChoice はナイジェリアのクリエイティブ産業振興に向けた協力体制を模索
https://guardian.ng/news/copyright-commission-multichoice-explore-partnership-to-boost-nigerias-creative-industry/?fbclid=IwY2xjawRIffNleHRuA2FbQixMABicmlkETE2d2tDNm9VenVVREpaTEo0c3J0YwZhcHBfaWQQMjlyMDM5MTc4ODlwMDg5MgABHv-fN7RVdp5CuVMQhgtLTy2hguQMmcTXife5qBzk90e0dGegYsrGwNs-7YT7_aem_ypCb-EbTKBKWUBC-NhgWaA (2026 年 3 月 22 日)

・ マラケシュ条約のナイジェリアでの実施を求めてナイジェリア盲人協会（NAB）が意見表明のため NCC を訪問
<https://www.facebook.com/copyright.gov.ng/posts/pfbid0sU3ebvoxq1mBRugHqmogHe8cAN8ShDoiD4ZVaQcsTRKWpd6Xjq3qCxLyUQJITgg8l?rclid=Z1OCqF1nRvD6nb1x#> (2026 年 3 月 22 日)

・ ナイジェリア法曹協会の活動に見る 2026 年の「法律週間」（Law Week）
<https://www.facebook.com/copyright.gov.ng/posts/pfbid02GHnM1hbKSASNJWkGT4Je3BUxg7h36mdjX6gqZ7tyuw9gAJ3k8B8grrBSyilS1gQkql?rclid=0f1Q59JelAqTinEi#> (2026 年 4 月 1 日)

・ ナイジェリア中北部のクル（Kuru）を本拠とする国立政策・戦略研究所（Institute for Policy and Strategic Studies ; NIPSS）が戦略的機関訪問の一環として著作権委員会を訪問
<https://www.facebook.com/copyright.gov.ng/posts/pfbid0ro4NNp1XEpb77jhufSdBcuyiFQepaZDMQBey8wBMk4zubGvwRbvr5bQ15ueswApql?rclid=hNf09rfyk1DYIYZ7#> (2026 年 4 月 2 日)

・ ナイジェリア知的財産法協会（Intellectual Property Lawyers Association of Nigeria ; IPLAN）が NCC を表敬訪問

<https://www.facebook.com/copyright.gov.ng/posts/pfbid02xtF4u1vW9uMR56iyJWintzsiKexrAZxqxVxyYyYYvbKX5mdM6V9QiqpLBAAbM3r9il?rdid=YDrEhEEwy9UP4XuW#> (2026 年 4 月 15 日)

- ・ 知的財産をイノベーションや資産形成に活用するよう著作権委員会が若年層に呼びかけ

https://blueprint.ng/copyright-commission-urges-youth-to-leverage-intellectual-property-for-innovation-wealth-creation/?fbclid=IwY2xjawRlJRleHRuA2FlbQlxMABicmlkETE2d2tDNm9VenVVRpTEo0c3J0YwZhcHBfaWQQMjlyMDM5MTc4ODIwMDg5MgABHleZpnjbTf3GVjXDCIPyyGC2BI0lcZXH-npTallnqQk8N5QzbLTZppkjPuow_aem_6OmCFXGjiEVHGbpZP08MYg (2026 年 4 月 26 日)

- ・ NCC の研修・教育機関であるナイジェリア著作権アカデミー (Nigerian Copyright

Academy ; NCA) が国立美術館 (National Gallery of Arts ; NGA) の職員向けに研修を実施

<https://www.facebook.com/copyright.gov.ng/posts/pfbid0296GkYuevHGgogMwNagFjjzCA1ZYj555MvnNRg51dDHevMeqnwEc63keG31c2FKJQI?rdid=Mm369egSuAgQyhvP#> (2026 年 4 月 26 日)

OAPI

- ・ 中央アフリカ・カトリック大学 (Catholic University of Central Africa ; UCAC) で開設された知財訴訟の法律実務に関する講座を OAPI が後押し

https://www.linkedin.com/posts/oapi-linked_in_propriaeztaezintellectuelle-ucac-yaoundaez-activity-7434248798547177473-FhYd/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw (2026 年 3 月 3 日)

- ・ アフリカ経済を前進させる革新・創造・変化を実現する人材を育てるため OAPI は AFPI プロジェクトを通じてアグリビジネスに従事する女性や STEM (科学・技術・工学・数学) を学ぶ女子を支援

https://www.linkedin.com/posts/oapi-linked_in_brevets-marques-innovation-activity-7436413224725450752-xTzg/?utm_source=social_share_send&utm_medium=member_desktop_web&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfD08I9hJ34ephvQ (2026 年 3 月 9 日)

- ・ WIPO-OAPI 地域会議 : OAPI 加盟地域における技術・イノベーション支援センター (Technology and Innovation Support Center ; TISC) の統合的ネットワークの構築

<https://oapi.int/2026/03/10/reunion-regionale-ompi-oapi-construire-un-reseau-integre-de-centres-dappui-a-la-technologie-et-a-linnovation-cati-dans-lespace-oapi/> (2026 年 3 月 10 日)

- ・ 将来の知的財産訴訟専門家の育成を目指して UCAC が開設した講座を OAPI が支援 : 第一期修了生のクラスを OAPI 長官が後援

<https://oapi.int/2026/03/10/loapi-accompagne-la-formation-des-futurs-experts-du-contentieux-de-la-proprieete-intellectuelle-de-lucac-le-directeur-general-parrain-de-la-premiere-promotion/> (2026 年 3 月 10 日)

- ・ 赤道ギニア : 知的財産に関する記念すべき政府セミナーの主宰者は首相

<https://oapi.int/2026/03/13/guinee-equatoriale-le-premier-ministre-preside-un-seminaire-gouvernemental-historique-sur-la-proprieete-intellectuelle/>;

https://www.linkedin.com/posts/oapi-linked_in_malabo-propriaeztaezintellectuelle-structuresnationalesdeliaison-activity-7437888742217900032-HbET/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw (2026 年 3 月 13 日)

・脚光を浴びるアフリカのイノベーション：ジュネーブ国際発明展でセネガル人の発明が金メダルを獲得

<https://oapi.int/2026/03/17/linnovation-africaine-a-lhonneur-medaille-dor-a-geneve-pour-une-invention-senegalaise/> (2026年3月17日)

・OAPIの理事会議長（PCA）がOMC閣僚会議に合わせてヤウンデのOAPI本部を訪問

https://www.linkedin.com/posts/oapi-linkedin_pca-yaoundaez-omc-activity-7442284909181710336-qbqa?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8I9hJ34epvQ (2026年3月24日)

・OAPIの理事会議長がヤウンデのOAPI本部を訪問

<https://oapi.int/en/2026/03/25/the-chairman-of-the-board-of-directors-of-oapi-is-visiting-the-organizations-headquarters-in-yaounde/> (2026年3月25日)

・OAPIの裁判官研修所の教官を対象とした研修の2回目の講義がトーゴのロメで開催

<https://oapi.int/en/2026/04/02/lome-is-hosting-the-second-session-of-the-training-of-trainers-for-the-schools-of-magistrates-in-the-oapi-area/> (2026年4月2日)

・OAPIとフランス工業所有権庁（INPI-France）が待ちわびていた第20回合同委員会がロメで開催 ― 議題は専ら2024～2025年の評価と2026～2027年の協力活動の優先課題の明確化

https://www.linkedin.com/posts/oapi-linkedin_lomaez-coopaezration-pi-activity-7445445325017755648-w1a1/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8I9hJ34epvQ (2026年4月6日)

・OAPIとトーゴの雇用主たちは知的財産を経済モデルに組み込むことを提唱

<https://oapi.int/en/2026/04/07/loapi-and-togolese-employers-are-advocating-for-the-integration-of-intellectual-property-into-economic-models/> (2026年4月7日)

・トーゴのロメで開催された第20回OAPI-INPI France合同委員会においてOAPIとトーゴの雇用主たちが企業の確かな将来と個人の保護にとって知的財産保護が重要だと指摘して民間セクターの主だった人々を啓発

https://www.linkedin.com/posts/oapi-linkedin_compaetzitivitaez-propriaetztaezindustrielle-activity-7447040260208783360-Ys65/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8I9hJ34epvQ (2026年4月13日)

南アフリカ

・模倣品のリキュールが健康上の懸念を生じさせたため南アフリカ政府が取締りのためプロジェクトチームを発足

<https://www.news24.com/politics/govt-launches-task-team-to-tackle-counterfeit-booze-as-cases-raise-health-concerns-20260304-0600> (2026 年 3 月 4 日)

・ 第 6 回知的財産・技術商業化コロキウム

<https://www.facebook.com/share/p/1CmSmdxd2z/>; <https://www.facebook.com/share/p/1PPZ5nhtWB/> (2026 年 3 月 10 日)

・ 価格にして 10.5 万ランド相当の模倣品のリキュールの押収と容疑者 2 人の逮捕

<https://www.timeslive.co.za/news/south-africa/2026-03-15-counterfeit-liquor-worth-r105k-seized-two-suspects-arrested/> (2026 年 3 月 15 日)

・ ダーバンで行われた税関の大規模な取締りにより 60 万ランド相当の違法なタバコ製品を押収し容疑者 2 人を逮捕

<https://iol.co.za/news/crime-and-courts/2026-03-17-major-crackdown-by-customs-nets-r600000-in-illegal-cigarettes-and-two-arrests-in-durban/> (2026 年 3 月 17 日)

・ 地域のベスト・プラクティスの調整を目的とした 2 日間の連携会議に出席するためナミビアの企業・知的財産機関 (Business and Intellectual Property Authority ; BIPA) が南アフリカ企業・知的財産委員会 (CIPC) を訪問

https://www.linkedin.com/posts/the-cipc_cipc-bipa-regionalcollaboration-activity-7439700373520424960-Gtom/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAAAVxn4UBmx6eu6dZ8acBthTL72F5G8jB4Aw (2026 年 3 月 18 日)

・ 前立腺がんの患者が今後も手頃な価格の治療薬 Enzutrix を利用できることを保証する判決を南アフリカ最高裁判所 (the Supreme Court of Appeal ; SCA) が宣告

<https://iol.co.za/capetimes/news/2026-03-19-sca-ruling-ensures-affordable-enzutrix-remains-accessible-for-prostate-cancer-patients/>;
<https://iol.co.za/news/crime-and-courts/2026-03-18-supreme-court-ruling-secures-affordable-enzutrix-for-prostate-cancer-patients/>;
<https://iol.co.za/thepost/news/2026-03-19-court-ruling-secures-affordable-prostate-cancer-treatment-in-south-africa/> (2026 年 3 月 19 日)

・ 科学技術イノベーション大臣が南アフリカ知的財産管理事務所 (National Intellectual Property Management Office ; NIPMO) および NIPMO 諮問委員会との戦略的連携を指示

https://www.linkedin.com/posts/dept-of-science-and-innovation_dsti-nipmo-intellectualproperty-ugcPost-7450915973273939968-Va_N/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8l9hJ34ephvQ (2026 年 3 月 20 日)

・ 南アフリカの国家的イノベーション能力の向上と技術主権の確立が科学技術イノベーション省 (Department of Science and Technology ; DSTI) の年次成果計画の最優先課題に

https://www.linkedin.com/posts/dept-of-science-and-innovation_dsti-ugcPost-7452386987019296768-0COF/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8l9hJ34ephvQ (2026 年 3 月 27 日)

・協働学習型（Peer-led）のイノベーション・ソリューション・サークル：商業化と技術移転機関（TTO）の産業関与を強化

https://www.linkedin.com/posts/thensaza_thensaza20years-dsti-nipmo-ugcPost-7453077411472171009-B2HE/?utm_source=share&utm_medium=member_desktop&rcm=ACoAABBHjSUBNe6s9vY5YuQjfDO8l9hJ34ephvQ

(2026年3月27日)

チュニジア

・チュニジア標準化・産業財産庁（INNORPI）が「イノベーション、知的財産および労働安全衛生」をテーマとして啓発と能力開発のためのセミナーを実施

<https://www.innorpi.tn/fr/actualites/innorpi-ompi-innovation-propriete-intellectuelle-et-sante-et-securite-au-travail-en>

(2026年3月27日)

タンザニア

・タンザニア営業登録・実施許諾局（Business Registration and Licensing Agency ; BRELA）が企業向けサービスの提供に関わる制度を強化

<https://www.facebook.com/brelatz/posts/pfbid0bnsaBxHHzPFGLxbQpcC32vL9jceNSk7ow6oAggHb3kttdpTieYLXeQVXZT2jQAxk>

!rddid=vR5c8X5TJcgcA6Vb# (2026年4月23日)

ウガンダ

・ザンビアの特許企業登録局（Patents and Companies Registration Agency ; PACRA）が3日の実地視察のためにウガンダ登録サービス局（Uganda Registration Services Bureau ; URSB）を訪問

<https://ursb.go.ug/2026/03/10/ursb-hosts-pacra-delegation-reinforcing-benchmark-status/> (2026年3月10日)

・URSB が啓発活動のため法学生にデジタル時代の著作権スキルを提供

<https://ursb.go.ug/2026/03/10/ursb-outreach-equips-law-students-with-copyright-skills-for-the-digital-age/>

(2026年3月10日)

・URSB のトップである登録長官（Registrar General）が著作権法案への支持を呼びかけ

<https://ursb.go.ug/2026/03/17/registrar-general-drives-support-for-copyright-bill/> (2026年3月17日)

・革新的なバナナ加工技術の商業化を進めるため URSB とウガンダ投資庁（UIA）が協力

<https://ursb.go.ug/2026/03/17/ursb-and-uia-partner-to-advance-commercialisation-of-innovative-banana-processing-technology/>

(2026年3月17日)

・ウガンダ議会は自国のクリエイターに対する著作権保護を強化する意向

<https://ursb.go.ug/2026/03/17/parliament-moves-to-strengthen-copyright-protection-for-ugandas-creators/>

(2026年3月17日)

・ウガンダ：ウガンダの国会議員 Rachael Magoola 氏が音楽のみならず幅広い分野での著作権保護を要請

<https://allafrica.com/stories/202603180583.html> (2026 年 3 月 17 日)

・ウガンダ資本市場庁（Capital Markets Authority ; CMA）の代表団が知識共有型の実地調査のために URSB を訪問

<https://ursb.go.ug/2026/03/17/ursb-hosts-cma-delegation-for-knowledge-sharing-benchmarking-visit/> (2026 年 3 月 19 日)

・ARIPO はウガンダの新著作権法によるクリエイティブ部門の強化を歓迎

<https://ursb.go.ug/2026/03/25/aripo-hails-uganda-for-strengthening-creative-sector-with-new-copyright-law/> (2026 年 3 月 24 日)

・URSB がウガンダの国営放送局 UBC のテレビ番組に出演 —— 新たな著作権法案を解説しクリエイティブ産業の意識向上を図るため

<https://ursb.go.ug/2026/03/25/ursb-explains-new-copyright-bill-on-ubc-tv-boosting-creative-industry-awareness/> (2026 年 3 月 25 日)

・URSB はウガンダ北西部のアルア市（Arua）のオンバチ・スクール（Ombaci School）に 39 番目のイノベーションセンターを設立

<https://ursb.go.ug/2026/03/25/ursb-sets-up-39th-innovation-centre-at-ombaci-school-in-arua/> (2026 年 3 月 25 日)

・サイバーセキュリティ強化に向けた国家的な取組の中で URSB が最優秀官庁の一角に

<https://ursb.go.ug/2026/03/25/ursb-joins-top-agencies-in-national-cybersecurity-drive/> (2026 年 3 月 25 日)

・ウェストナイル産シアバター製造者が地理的表示（GI）認定の取得に向けてさらに前進

<https://ursb.go.ug/2026/04/01/west-nile-shea-butter-producers-move-closer-to-gi-status/> (2026 年 4 月 1 日)

・ウガンダ全国学生協会（Uganda National Students Association ; UNSA）と知財当局が連携して学生のイノベーション能力を開発強化

<https://ursb.go.ug/2026/04/08/uns-a-ip-office-join-hands-to-empower-students-with-innovation-skills/> (2026 年 4 月 8 日)

・イノベーションの促進を目指す URSB とキャンボゴ大学（Kyambogo University）が連携を模索

<https://ursb.go.ug/2026/04/08/ursb-kyambogo-university-explore-partnership-to-boost-innovation/> (2026 年 4 月 8 日)

・「世界知的財産の日」を機に URSB 登録長官がスポーツ関連のイノベーションの保護を呼びかけ

<https://ursb.go.ug/2026/04/29/registrar-general-calls-for-protection-of-sports-innovation-at-world-ip-day/> (2026 年 4 月 29 日)

- ・ スポーツ中継の著作権侵害の抑制を目指すウガンダ政府に知財法強化の動き

<https://ursb.go.ug/2026/04/29/government-moves-to-strengthen-ip-laws-to-curb-sports-broadcast-piracy/> (2026 年 4 月 29 日)

- ・ ウガンダのスポーツ経済の可能性を開くため専門家らが知財制度の強化を要請

<https://ursb.go.ug/2026/04/29/experts-call-for-stronger-ip-systems-to-unlock-ugandas-sports-economy/> (2026 年 4 月 29 日)

ザンビア

- ・ ザンビアの特許・企業登録局 (Patents and Companies Registration Agency ; PACRA) が リクンビ・リャ・ミーゼ文化協会 (Likumbi Lya Mize Cultural Association) と会談 —— 伝統的な祭典「リクンビ・リャ・ミーゼ」を始めとする伝統文化の様々な側面を知的財産権登録により保護する構想について協議

<https://www.facebook.com/PacraZambia/posts/pfbid0274KrZFmRUhzZ9EewYCBXHVMKifrac66DYCxbTT1a3nJHuxhiExmfHUogbDN2VmNI?rldid=wLF3b17q05cClEcn#> (2026 年 3 月 24 日)

ジンバブエ

- ・ 夢をビジネスに：ジンバブエの若き起業家 50 人を WIPO はどのように後援したか

<https://www.wipo.int/en/web/fit-japan/w/news/2026/from-dreams-to-business-how-wipo-boosted-50-young-entrepreneurs-in-zimbabwe> (2026 年 3 月)

[特許庁委託]

アフリカ知的財産ニュースレター Vol. 119

[著者]

KISCH IP

KISCH IP

[発行]

日本貿易振興機構 ドバイ事務所

JETRO
JAPAN EXTERNAL TRADE ORGANIZATION

2026年5月発行 禁無断転載

本ニュースレターは、KISCH IP が英語にて原文・日本語訳を作成し、JETRO ドバイ事務所がそのチェックと修正を施したものです。また、本ニュースレターは、作成の時点で入手している情報に基づくものであり、その後の法律改正等によって変わる場合があります。掲載した情報・コメントは著者及び当事務所の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものでないことを予めお断りします。なお、本ニュースレターの内容の無断での転載、再配信、掲示板への掲載等はお断りいたします。

また、JETRO は、ご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、提供した情報等の正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行なうようお願いいたします。

本文を通じて皆様に提供した情報の利用により、不利益を被る事態が生じたとしても、JETRO はその責任を負いかねます。